

～Windows 11 アップグレードに関して～

筑波大学 情報環境機構 学術情報メディアセンター EES 対応窓口

作成日：2019/7/19 (最終更新日 2025/3/17)

本学が契約しているマイクロソフト教育機関向け総合契約(EES)では、Windows OS のアップグレードが可能です。ここでは主に Windows OS 環境でのアップグレード方法について述べています。

※「アップグレード」とは、原則として、現在使用中の OS から上位のバージョンへの変換を意味します。このため、OS なしの PC への新規インストールは対象外です。

※尚、当窓口では、インストール時のサポートは行っておりません。全て、自己責任において行うようお願い申し上げます。

1. 事前注意事項

※Windows 10 は、Microsoft 社のサポートが 2025 年 10 月 14 日に終了となっている為、ここでの提供も終了しました。

Windows 11 へのアップグレードされる場合は、

アップグレード前に使用している PC が、Windows 11 の仕様要件を満たしているか必ずご確認ください。

仕様要件については、以下、マイクロソフト社の Web ページをご参照ください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/windows/windows-11-specifications?r=1>

PC 正常性チェック アプリを使用することで確認もできます。

本学における、教育機関向け総合契約 (EES) のライセンス対象者などについては、次のページを参照下さい。

<https://www.cc.tsukuba.ac.jp/wp/service/sl/ees/ees-user/>

※本学の教職員のみインストールできます。学生はダウンロード・インストールできません。また、教職員が導入および管理する PC のみインストール可(アップグレード可)となります。

研究室等の共用 PC (本学が所有する PC)に対して、学生がアップグレード作業を行う場合も、担当教員がインストーラを入手してください。

2. アップグレード手順

(1) 次に示す URL の中からご自分の環境に合ったものをお選び下さい。

現在 Windows 環境でアップグレードをする方は、zip 形式をダウンロードし、解凍するやり方をお勧め致します。

Mac でのインストールなどでは、ISO 形式を用いることをお勧め致します。

Mac への Windows OS のインストールについては、次の2つのうち、いずれかの方法を用いて EES で提供される Windows OS ライセンスをご利用頂けます。

- ・ Apple Boot Camp を利用した Windows OS のご利用
- ・ Mac OS 上でサードパーティの仮想化ソフトウェアに Windows OS を仮想 OS として展開してのご利用。

(仮想化ソフトウェアとは、VMware Fusion, Parallels Desktop, Virtual Boxなどを指します。具体的なインストール方法については、ご自身でご確認下さい。)

※以下、ダウンロード時、ID・パスワード入力が求められます。統一認証の ID(UTID-13)・パスワードとなります。

Windows 11 Enterprise Edition

※Windows 11 から マイクロソフト社による 32bit 版の提供はされておられません

(ISO 版)

日本語版 64Bit 版

<https://portal.cc.tsukuba.ac.jp/sso/download/staff-only/windows11enterprise-ver24h2-jp-x64.ISO>

英語版 64Bit 版

<https://portal.cc.tsukuba.ac.jp/sso/download/staff-only/windows11enterprise-ver24h2-en-x64.ISO>

(zip 版)

日本語版 64Bit 版

<https://portal.cc.tsukuba.ac.jp/sso/download/staff-only/windows11enterprise-ver24h2-jp-x64.zip>

英語版 64Bit 版

<https://portal.cc.tsukuba.ac.jp/sso/download/staff-only/windows11enterprise-ver24h2-en-x64.zip>

(2) zip データと ISO ファイルの解凍に関して

zip データの解凍

Windows の zip 機能では、zip データのファイルサイズの大きさから、正常に解凍ができませんので、7zip などのフリーの解凍ソフトをインストールの上、解凍下さい。

参考情報として、7zip に関する URL を示しておきます。

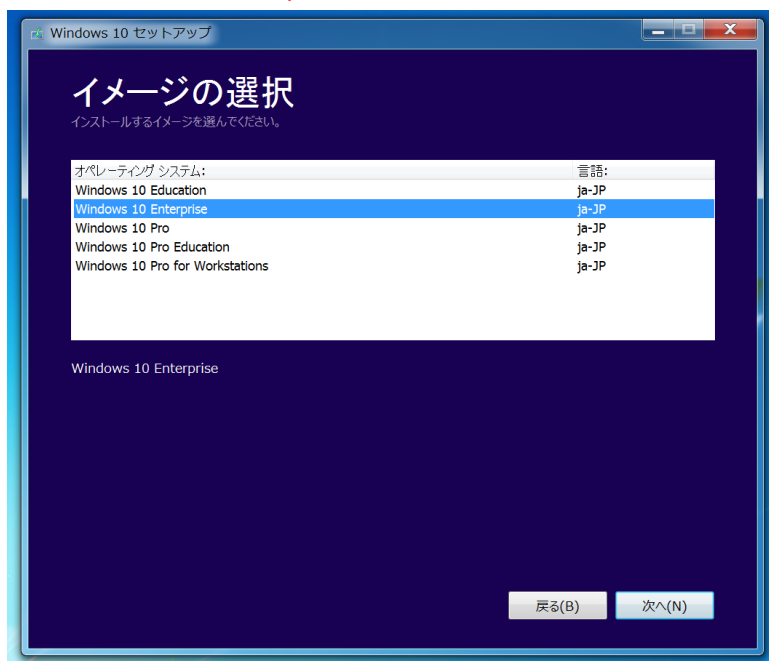
外部サイト(<https://7-zipopensource.jp/>)

※クライアント OS の Bit 数をご確認の上、インストールして下さい。64bit or 32bit。

7zip のインストールが完了したら、7zip で解凍を行って下さい。(zip データ右クリックで 7zip で解凍を選択)

(3) 解凍後、解凍フォルダ内にある setup.exe を実行の上、各ダイアログ画面に従いインストールを行います。

※「イメージの選択」は、アップグレードするエディションを選択して下さい。ここでは「Windows 11 Enterprise」を選んで下さい。



(4) Windows 11 へのアップグレードが完了したら、以下の手順にてライセンスの適用を行って下さい。

※ライセンス認証を行わないと、しばらくして、Windows OS の機能制限がされご利用いただけなくなります)

①MicrosoftLicenseAppTool.zip をダウンロードします

<https://portal.cc.tsukuba.ac.jp/sso/download/staff-only/MicrosoftLicenseAppTool.zip>

②ダウンロードした zip ファイルを展開・解凍して出来たフォルダ内の MicrosoftLicenseAppTool.zip.reg をダブルクリックします

「セキュリティの警告」画面が表示される場合は「実行」、ユーザアカウント制御画面が表示される場合は「はい」をクリックします

③レジストリエディター画面が表示されます。“～～続行しますか？”の問いには「はい」をクリックします。

“レジストリに正常に追加されました” と表示されるので「OK」をクリックします

④PC を再起動をし、しばらくするとライセンス認証が完了します

⑤ライセンス認証が完了しているかご確認いただくには、システム情報のライセンス認証部分をご確認下さい。

コントロールパネル → システムとセキュリティ → システム → 『Windows ライセンス認証』 からご確認いただけます。

“Windows はライセンス認証されています。”が表示されていれば認証されております。

※ライセンス認証されない場合は、こちらをご確認下さい。

<https://www.cc.tsukuba.ac.jp/wp/service/sl/ees/ees-license/>

(5) 以上でアップグレード完了となります。